

医療の質・安全学会第3回学術集会ランチヨンセミナー

# 血管内留置 カテーテル関連 合併症の原因と 最適なケア

エビデンスに基づく看護介入

※新しい固定デバイスの使用経験

【日時】 平成20年11月23日(日) / 11:50~12:50

【会場】 東京ビッグサイト会議棟 第4会場6階608会議室

【座長】 長野県立こども病院 院長 宮坂 勝之先生

【演者】 Lynn C. Hadaway, M.Ed., RNC, CRNI / 同時通訳付

Safety  
Security  
Savings

## Pathogenes Predicts Prevention

— Causes and care of catheter complications —

### 要約

血管内留置カテーテル関連合併症は不快感から致命的な問題へと多岐にわたり、医療費に深刻な負担を加えています。すべての合併症が防止できるわけではないものの、これらの合併症の発生率を減らす多くの介入は看護師業務の領域にあります。加えて、INS基準(\*INS:Infusion Nurses Society米国輸液療法看護協会)に由来する適切な介入は、看護師と病院組織の法的義務を減少させます。

今回は、静脈炎や血管外漏出の発生機序とそれらのカテーテル関連合併症を防ぐための看護介入に関するプレゼンテーションを行います。

皆さんにお会いできるのを楽しみにしています。



Lynn C. Hadaway, M.Ed., RNC, CRNI

- ◆経歴:1972-1974 Georgia Baptist Hospitalにて静脈内療法チーム副師長
- 1974-1975 South Fulton Hospitalにて静脈療法チーム師長
- 1975-1976 Dekalb General Hospitalにて静脈療法チームスタッフ
- 1980-1981 Tawam Hospitalにて静脈内療法チーム主任
- 1981-1988 Clayton General Hospitalにて静脈内療法チームスタッフ
- 1990-1995 Southern Regional Medical Center(旧Clayton General Hospital)にて静脈内療法チームスタッフ
- 1989-1996 Melno Care, Incにて看護師教育担当
- 1996-現在 Lynn Hadaway Associates, Inc. 代表(院内コンサルティング業務)
- 2006-現在 National Alliance for the Primary Prevention of Sharps Injury (NAPPSI) 常任理事

